

平成26(2014)年

広報 **4** 月号 No.492



のた

○ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>
○Eメール soumu@vill.noda.iwate.jp

希望を乗せて出発進行！



4月6日、三陸鉄道がついに全線運行再開となり、野田村でも陸中野田駅、野田玉川駅で記念列車を迎え、再開を祝いました。

主な
内容

平成26年度施政方針	2～5
住宅再建支援制度	6～7
5軒が民泊受け入れに挑戦	8～9
人事異動	10～11
職員紹介、予算	12～13
むらの話題、生涯学習コーナー	14～17
情報ステーション	18～19

豊かな自然と活力にみちた 住民が主役のむらの実現に向けて

～地方自治の原点に基づき、村民の暮らしを支える～

村議会3月定例会初日の10日、小田祐土村長が平成26年度のむらづくりの重要施策について施政方針を述べました。小田村長が述べた演述の概要をお伝えします。

一、健康で生きがいをもつて暮らせる福祉社会をめざして

■高齢者福祉

地区公民館を活用したサロン事業などの拡充や継続的実施により、健康で生きがいを持ちながら地域社会で活動できる環境づくりを進めます。

介護保険事業計画に基づき、配食サービスや介護用品の支給を継続します。

「福祉安心電話サービス」や「のんちゃんネット」を活用して地域で支え合う体制づくりを推進します。

高齢者や重度心身障がい者などの要援護者については、地域包括支援センターや保健師などの家庭訪問による状況確認や高齢者等安否確認事業を継続し、災害時要援護者避難支援計画に基づいた災害時の避難支援対策にも取り組みます。

のだ地域福祉事業所「あづび」に委託している移送サービスや買物代行、お伺い事業などを、引き続き実施します。

■障害者福祉

自立支援給付事業や地域生活支援事業など、障害者福祉サービスの提供による総合的な施策の推進により、日常生活を支援します。

■児童福祉

子育てに関する経済的負担の軽減のため、エンゼル祝金事業を継続します。子どもの健やかな成長のため、出生時に地域産材を活用した木製玩具を贈呈し、木との触れ合いを通じて五感を育み、木から与えられる温もりの心を醸成します。

保育料の2歳児までの無料化を実施するとともに、さらなる対象の拡大などを検討します。

高校卒業時までの医療費助成を行い、保護者の経済的負担の軽減を図ります。

■保健衛生

安全・安心な出産に向けた支援に努めるとともに、不妊症に悩む人の経済的負担軽減のため、治療費用の一部を助成します。

40歳以上75歳未満対象の特定健康診査・特定保健指

導のほか、40歳未満の若年者健診、75歳以上の後期高齢者健診を継続し、受診率向上を図るため休日の健診を実施します。

JA新しいわてが実施する人間ドックの利用者への助成や、ガンマーカー検査への助成を継続し、疾病の早期発見、早期治療に努めるとともに、インフルエンザや高齢者を対象とした肺炎球菌などのワクチン接種に対しても助成を行い疾病の重症化などの防止に努めます。

食生活改善推進員、自殺

対策傾聴ボランティア、ニコニコ運動推進員などと連携し、疾病予防事業、食育事業による運動・栄養指導や健康相談などを充実させ、健康寿命の延伸に向け、村民自らが心身の健康づくりを実施できるように努めます。

「歯と口腔の健康づくり条例」に基づき、口腔ケアについての意識向上を図るとともに、健康づくりの場、医療連携の拠点として、保健センターの整備に向けた準備を行います。



運動不足解消！のんちゃんネット体操の配信

二、魅力ある生活基盤の創造をめざして

■治山・治水・海岸保全

倒壊した前浜地区防潮堤は、県で引き続き災害復旧事業を実施しています。さらに、米田海岸および広内海岸（中沢）の堤防嵩上げ整備が計画されており、県と連携し事業の早期完成を要望します。

台風、豪雨時などの洪水被害を防止するため、雨水排水計画を策定中であり、今後、北区地区および土地区画整理事業区域内の内水対策を検討します。

明内川河川切替事業については、土地区画整理事業および道路事業と合わせた整備計画を策定中であり、事業実施に向け、県と調整を図ります。

■公共交通

村営バスの自由乗降制度や乗車使用料のワンコイン制を継続し、スクールバスへの混乗を推進します。また、被災者を対象とした村営バスの無料化も引き続き実施します。



復興へ一歩ずつ城内高台団地の整備が進む

■水道・下水道

水道・下水道については、高台団地、土地区画整理事業区域の整備を推進します。さらに下水道については、明内、中平地区の整備も併せて推進します。個別処理区域については、浄化槽設置事業の導入を促進します。

■村道

松川線の交差点改良および小学校通り線の改良舗装事業を実施するとともに、橋梁長寿命化計画に基づき、橋梁の修繕事業を実施します。

■国・県道

主要地方道野田山形線の国道45号線からの迂回ルートの整備、県道野田長内線の越波対策、安家玉川線は下安地区漁業集落防災機能強化事業の宅地嵩上げに合わせた道路の嵩上げ、高規格幹線道路の八戸・久慈自動車道及び三陸沿岸道路の早期完成、久慈・盛岡間の整備を国・県に対して強く要望します。

■情報化

役場庁舎などの電力消費量の可視化を図るとともに、各施設の照明設備などを一括管理し、節電などに取り組みます。

三、快適な環境と安全で 住みよいむらをめざして

■再生可能エネルギー

地球温暖化対策、非常時の電源確保のため、公共施設への太陽光発電など再生可能エネルギー利用設備の導入を図るとともに、一般住宅への導入支援を継続します。

■環境衛生

資源の分別収集とリサイクル、ごみ減量化に努めるとともに、昨年10月から実施しているプラスチック製容器包装の分別収集をさらに推進していくほか、不要になった古着などの衣類回収にも取り組みます。

■消防・防災

城内、泉沢、南浜および米田地区に都市公園事業による高盛土と公園、海側から内陸に避難する避難道路を整備し被害の軽減を図ります。被災した城内地区は、区画整理事業により中心市街地として復興を推進し、

下安家地区の宅地嵩上げと中沢地区の宅地嵩上げ及び高台移転の宅地整備を進めます。

被災後の実情にあわせた地域防災計画に基づき、各種行動マニュアルの作成を行います。また、災害用備蓄品を計画的に購入し、非常時の対応に備えます。

災害時における情報伝達については、現行システムで各種情報端末へ災害情報を一括配信するほか、住民への防災メールの登録推進、衛星携帯電話の配備など、多様な情報伝達手段の構築に努めます。

■消防団

団員の各種訓練などへの積極的な参加を促し、消防団の活性化に努めます。災害時における消防団員の安全を確保するため、津波到達予想時刻の15分前避難ルールを実行し、水門の遠隔操作化の早期完成を県に要望します。

■消防施設

津波災害により被災した久慈消防署野田分署の移転

新築に着手するとともに、第6分団（横合）に待機所を兼ねた屯所を整備します。

■交通安全・防犯対策

地域安全協議会などの関係機関と緊密な連携をとり、児童・生徒・高齢者を対象とした交通安全教室や街頭での交通安全キャンペーン活動、防犯パトロール、見守りや声かけ活動などを実施します。

四、豊かな心と文化を育む生涯学習の推進をめざして

■学校教育

知識や技能、学ぶ意欲や自ら学び考える力などの「知育面」、豊かな心や道徳心、規範意識などの「徳育面」、健康・体力や基礎的運動能力などの「体育面」のバランスのとれた、「生きる力」を身に付けた野田つ子を育みます。中でも、国際理解教育及び外国語教育の充実を図るため、外国語指導助手の小・中学校への派遣を引き続き実施します。

■高校教育

三陸鉄道を利用する生徒に対する通学経費の負担軽減のための支援を継続するとともに、久慈工業高校に学校給食センターからの副食を継続して提供します。大学・専門学校などへの修学を奨励し、野田村育英会を通して奨学金の貸与を継続します。

■生涯学習

生涯学習センターおよび図書館などの拠点施設の効果的な活用を行うとともに、地域と連携・協力しながら世代間交流事業を推進します。

■生涯スポーツ

各種大会を招致し、総合運動公園、体育館を核とした体育施設の有効活用を図ります。平成28年度に開催される第71回国民体育大会では軟式野球競技の会場地として、関係8市町村と連携を図りながら大会の成功に努めます。

■芸術文化

野田村芸術文化協会的主

体的な取り組みを基に、活動団体の育成・支援を図り、村民の文化に対する意識高揚に努めます。

■定住・交流事業

大学生の「のだ暮らし体感ツアー」の企画・受け入れを継続しながら、体験教育旅行や田舎暮らし体験などのメニューづくり、受け入れ農漁家らの発掘、育成、組織化などに取り組みます。10月に久慈地域を中心で開催される「全国ほんもの体験フォーラムinいわて」に参画し、野田村を全国にPRするとともに事業推進

のきっかけづくりを進めます。また、村外からの移住者の住宅の新築などに助成を継続します。

五、地域活力を創造する産業の展開をめざして

■水田農業

農業機械組合を引き続き支援し、農地の受委託、低コスト化、集約化を図りながら、地域の中心となる農業者の育成を推進し、新作物の導入を検討するなど、地域農業の発展に努めます。



野田の魅力が満載！のだ暮らし体感ツアー

■野菜・花き類

ハウレンソウの基金造成を継続し、生産拡大と安定経営に努めます。

リンドウの生産拡大を図るため、種苗、生産資材購入費などへの助成や優良品種選抜実証圃を発展させ、種苗の安定確保を図るとともに、小菊などの種苗購入費に助成し、栽培面積の拡大に努めます。

■農業生産基盤

長地地区の総合的な基盤整備工事の本格化に伴い、久慈市や農業生産組合ら関



旨みがギュッと詰まった寒じめハウレンソウの収穫

係機関の連携のもと円滑な事業推進に努め、新たな地区の圃場整備の展開を検討します。

■畜産

農業経営基盤強化資金への利子補給、養豚経営安定対策事業およびブロイラー価格安定対策事業に対して助成します。

■林業

風評被害の影響が大きいシイタケ生産者の負担を軽減するため、村単独費により種こまの補助率を引き上げ、さらに新たな原木購入

に関する補助事業の導入を検討します。

■有害鳥獣対策

農作物被害対策とあわせて組織した鳥獣被害対策実施隊の活動を支援するとともに、駆除用資材などの充実を図り、防除用電気さく

■水産業

民間企業の財源支援を導入した事業展開により、質の高い本村水産物の高付加価値化と流通体制の構築を図るとともに、最も効果的な販路の検討・選択などに取り組みます。

■漁港・漁場

野田漁港は、県において実施する物揚場の嵩上げによる係留施設の機能強化を、玉川漁港および下安家漁港は、外郭施設の改良を行い、港内の静穏と漁業活動の安全を確保します。

漁場の整備については、津波で飛散した厚井浜の増殖ブロック据付を県が実施することから、村としても航行の安全性向上と豊かな

漁場の再生を推進するため協力します。

■商工業

中小企業被災資産復旧事業費補助制度の継続やグループ補助制度などの情報収集に努め、事業者のニーズと村の復興状況に合わせた支援を行います。さらに、野田村商工会が実施する事業を支援するとともに、野田村中小企業振興資金の活用に係る利子および保証料の補給補助を行います。

■観光

みちのく潮風トレイルの村内ルートの検討、三陸ジオパーク事業への協力など、本村の自然や歴史を生かした観光面での整備を進めます。野田村観光協会など関係団体および各民間団体との協力連携のもと、のだ塩やホタテなど本村の食素材にスポットを当てたイベントの実施や、体験・交流型観光ツアー造成などへの支援を行い、観光客の誘致に努めます。

■雇用対策

新卒者ふるさと雇用支援

六、住民と行政の連携による計画の推進をめざして

■地域づくり

21世紀むらづくり委員会の活性化や野田村むらづくり運動推進協議会などの地域づくり団体と連携し、住みよい村づくりを展開します。

■男女共同参画

女性と男性が対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に参画し、一人ひとりの個性と能力を十分に発揮できる社会づくりを推進します。

結びに

健全財政の堅持と財源の効率的な運用を図りながら、施策重点化と効率化の徹底に努め、村民の皆さまの負託に応えます。

住宅を被災し、住宅の再建を行う場合に受けられる補助（つづき）

制 度	概 要	補 助 額
給水装置工事補助	給水設備から配水管までの給水管の接続工事を補助	必要経費の1/2を補助、上限 20万円
排水設備工事補助	排水設備から下水道や浄化槽などへの排水管の接続工事を補助	必要経費の1/2を補助、上限 17.5万円

被災住宅を修繕する場合に受けられる補助

制 度	概 要	補 助 額
被災者生活再建支援制度（加算支援金）（※1）	住宅が被災（大規模半壊、半壊）し、自ら居住する住宅を補修した世帯への補助	1人世帯…上限 75万円 2人以上の世帯…上限 100万円
修繕費用の利子補給	住宅補修にかかった融資を利子補給	限度額640万円金利1%以内で5年分の利子を補給
住宅補修補助	被災者生活再建支援制度などの制度の対象にならなかった、半壊・一部損壊住宅の補修を補助	工事費の1/2以内、上限 30万円。10万円以上の工事費を補助
耐震改修補助	被災住宅で現行の耐震基準を満たさない住宅を耐震基準に適合させるための改修への補助	工事費の1/2以内、上限 60万円
バリアフリー改修補助	被災住宅で、床の段差解消、手すり・高齢者トイレの設置などを行う場合に補助	工事費の1/2以内、上限 60万円
県産材使用改修補助	県産材を積極的に使用した改修を行う場合に補助（1㎡あたり0.04㎡以上など）	工事費の1/2以内、上限 20万円

その他の補助

制 度	概 要	補 助 額
被災者生活再建支援制度（加算支援金）（※1）	住宅が被災（全壊、大規模半壊、半壊）し、住宅を賃貸した世帯への補助	1人世帯…上限 37.5万円 2人以上の世帯…上限 50万円
既往住宅債務（2重ローン）への利子補給	被災により、新たに住宅の新築や補修のために資金を借り入れた場合、被災前の住宅の借りに利子補給	被災前の住宅債務に対し、5年分の利子を補給
被災宅地復旧工事費補助	被災住宅の宅地で、のり面の保護、地盤の補強・整地、排水施設や擁壁の設置・補強、地盤調査など被災住宅地の安全性の回復に必要な工事を対象に補助	20万円以上の工事で、1/2以内、上限 200万円

■問い合わせ

地域整備課☎78・2932、 ※1…住民福祉課☎78・2927

※2…防災集団高台移転やがけ地近接等危険住宅移転事業の対象者は復興むらづくり推進課

☎78・2915にお問い合わせください

被災者の住宅再建を支援する事業のお知らせ

東日本大震災で被災した世帯に対し、以下のとおり住宅再建の支援を行います
全ての事業において、申請期限が平成30年まで延長となりました

住宅を被災し、住宅の再建を行う場合に受けられる補助

制 度	概 要	補 助 額
被災者生活再建支援制度（加算支援金）（※1）	住宅が被災（全壊、大規模半壊、半壊）し、新たに住宅を建設・購入した世帯への補助	1人世帯…上限 150万円 2人以上の世帯…上限 200万円
被災者住宅再建支援事業（※1）	住宅が被災（全壊、大規模半壊、半壊）し、新たに住宅を建設・購入した世帯への補助	1人世帯…上限 150万円 2人以上の世帯…上限 200万円
復興住宅新築利子補助（※2）	住宅を被災し、新たに住宅を新築した場合、金融機関などから借り入れた際の利子相当額を一括で補助	住宅本体の費用 上限 444万円 住宅用地の購入 上限 206万円 住宅用地の造成 上限 58万円
バリアフリー対応経費補助	新築住宅で、一定の基準を満たすことで補助（申請費用も補助対象となります）	75㎡未満 …… 40万円 75～120㎡ …… 60万円 120㎡以上 …… 90万円
景観再生補助	新築・購入した住宅用地で、道路に面する1辺の1/2以上を生け垣など景観に配慮した柵などを設置する費用を、野田村商品券として補助	費用の1/2を、上限 5万円まで補助
引越し補助（※2）	仮設住宅などから災害公営住宅を含む再建住宅へ引っ越す際の経費を補助	かかった費用の全額（上限20万円）
（例）補助対象：引越業者の費用、車両の借上料・燃料費など（領収書が必要） 補助対象外：飲食物代、自家用車の燃料費など		
地域産材補助	久慈地域（久慈市、洋野町、野田村、普代村）産の木材を使用して住宅を建てた場合、県の補助に上乗せで補助。自身が所有する土地の木材を使用する場合は、伐採前にご相談ください	1～10㎡ … 5千円/㎡ 10～20㎡ … 10万円 20～30㎡ … 15万円 30㎡以上 … 20万円
県産材使用経費補助	新築住宅での県産材の使用量に応じて補助 上記補助と組み合わせて申請することができます	1～10㎡ … 1万円/㎡ 10～20㎡ … 20万円 20～30㎡ … 30万円 30㎡以上 … 40万円

前回に引き続き受け入れ！

学生の声

- ほうれん草のハウスマで歩いていき、貴重な体験になりました！
- 孫のように接していただいたので、安心したし、嬉しかったです。



朝、学生も一緒におもちを作りました



夕食作りのお手伝いを皆でしました

つきや (小野寺信多さん)



学生の声

- 2日目、体験から帰って来た時、何も考えずに自然と「ただいま」と出ました。「ただいま」と言いたい場所に出会えたことが、本当に幸せでした。

浜ちゃんhaus (小谷地勝さん)



おばあちゃんが作った野菜を使い、「男のカレー」を作りました



つきやチームと一緒に朝日を見に行きました

まだまだ 民泊受け入れ家庭募集中！



伝統の踊り・昔の遊び体験
(前田小路若妻会)



だんご作り体験
(村生活研究グループ)



SAORI織り体験
(グラシアSAORI)



豆腐職人体験
(米田やすさん)



浜の冬作業体験
(漁遊会)



竹スキー体験
(だらすこ工房)



エコクラフト作り体験
(羽希羽季クラブ)

各種体験すなっぷ

◆お問い合わせ◆
産業振興課
☎78・2926

今回初めて同行させていただきました。これから社会に羽ばたいていく若者の価値観を変える力が、野田村にあると思います。村の人たちの温かさに触れ、それぞれ「気づき」を得ていました。若者のこれからの人生をより豊かにする場所、それが「のだ暮らし体感交流ツアー」だと思いました。



宮本慶子さん
いわて復興応援隊
(洋野町役場勤務)

おじゃましました！

〇若妻会の方たちに、とてもパワーをもらいました。他の大学生にも行ってほしい所のひとつです。
〇竹スキー、楽しかったです。今度はもっとうまく滑りたいです。
〇村の皆さんと別れるのが本当に寂しくて、「もう少し滞在時間が長ければいいのに」と何度も思いました。
〇今まで外国にばかり目を向けていましたが、野田村に来て考え方が変わりました。

～全体を通して～
学生の声

5軒が民泊受け入れに挑戦

— 学生23人が「寒い！けどあったかいのだ暮らし」を体感 —

村では、2月24日から26日に、昨年9月に続いて「のだ暮らし体感交流ツアー・冬」を実施しました。サブタイトルは“寒い！けどあったかいのだ暮らしを体感なのだ！”ということで民泊・各種体験を通して交流をしながら、学生23人(大阪大学20人・弘前大学1人・八戸高専2人)が寒さはもちろん、“薪ストーブ”や“野田の人たちのあったかさ”を体感しました。今回は、5軒の民家へ分宿し、2泊を共にしました。



今回の新規受け入れ先を紹介します！

たぐきり処 (小野寺喜美多さん)



お孫さんとも、たくさんふれ合いました



「おそろいのユニフォーム、かっこいいでしょ！」

「民泊」としての受け入れは初めてだったので、正直戸惑いました。今回は雪で見せられなかったけど、本当は、山ぶどう畑を見せてあげたかったですね。



小野寺喜美多さん

ホのごの家 (小野寺さかえさん)



山の作業小屋で、お父さんと一緒に“椎茸の植菌作業”をしました



学生たちも手伝って作った“揚げ豆腐の味噌汁”は好評でした



りんご屋(本家) (平谷洋多さん)



帰省した息子さんも一緒に、皆で夕食。最初は緊張したようです



福来豚も入った、“ひつまみ豚汁”を皆で作りました

最初は気をつかってもてなしてしまいましたが、最終日一緒にひつまみを作っている時娘のような感覚になり楽しかったです。また遊びに来てほしいですね。



平谷洋子さん

復興むらづくり 推進課 課長・松本良治（再） （270）	生活基盤再建班（273、274） 総括主査・大沢勝利、主査・高木利夫（東京都）、同・関剣太郎（弘前市）、技師・林一郎（県）、主事・下向大介	漁業集落防災機能強化事業、防災集団移転促進事業、災害公営住宅整備事業
	街並み再生班（271、272） 総括主査・三ヶ森善智（東京都）、主幹・中村征治（洋野町）、主査・對馬正幸（青森市）、技師・浦田勲（県）、同・對馬敬史（同）、同・斗沢力（同）、同・高橋正彦（同）	区画整理事業、都市公園事業
	総務班（275）総括主査・下畑利明、主査・渡部恭之（青森県）、主事・飯塚瑛久（弘前市）、同・畑田純一、（中居愛）	予算、用地補償
特定課題対策課 課長・明内和重 （260）	特定課題対策班（261、262） 総括主査・小屋畑浩明、主事・菊池雄（盛岡市）、近藤勝義（葛巻町）、（澤口貢介）、（大沢アユミ）	自然エネルギー、応急仮設住宅の管理、地域情報化
出納室 会計管理者兼出納室長・田中和弘 （160）	会計班（161）総括主査・小野寺輝彦、（山道和代）	支出・収入の審査確認、会計諸帳簿の管理、村の公共料金窓口、県収入証紙販売

◎教育委員会 教育長・大崎英雄		
事務局 教育次長 小屋畑勝久 （451）	総務班（452） 主事・大沢洋晃	表彰、委員会の組織・予算・財産管理
	学校教育班（453） 総括主査・中野俊男、指導主事・坂本有希（県）、英語指導助手・キンバリー・スミス	小中学校の管理・運営、児童生徒の就学・安全衛生・福利厚生、通学バスの運行管理、教育研修指導
	生涯学習文化スポーツ班（454、455、456） 総括主査・小野寺勝、主任主査・井上雅孝（滝沢市）、主事・日形井賀友樹、同・丹治諭由（新）、（沢里清公）、（社会教育指導員・松舘美代子）、（米田亜希穂）、（五林信幸）、（司書・小谷地節子）、（アジア民族造形館・川土則子、間明和枝）	生涯学習・教育振興事業、青少年健全育成、芸術文化、文化財の調査・指定・保護、家庭教育・いきいきライフ、スポーツ・レクリエーションの奨励、総合運動公園など体育施設の管理・運営、各種スポーツ大会・講習会、学校給食
給食センター	所長・小屋畑勝久（兼）、栄養教諭・金慶暁辰（県）、（菊地浩美）	
小・中学校	小学校用務員（狩野透）、中学校用務員（山田和子）	

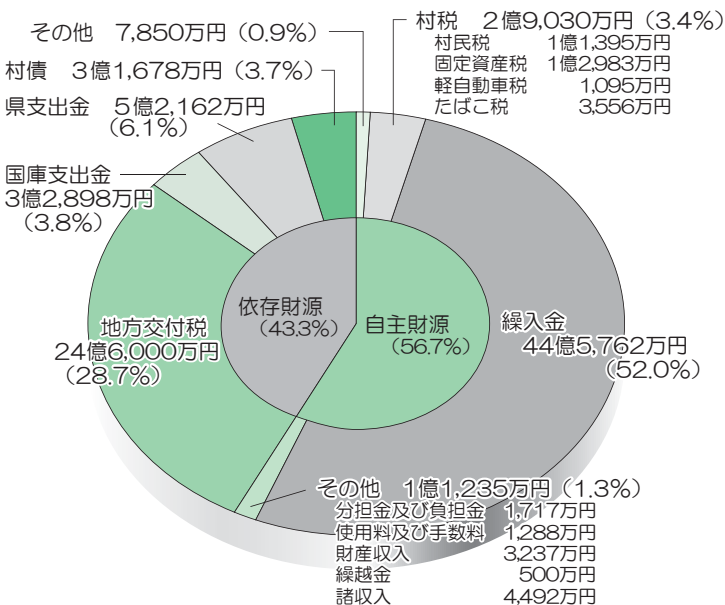
◎議会・各種委員会事務局		
議会事務局（200、201）	局長・大崎剛、総括主査・八幡重光（併）、主事・古舘良太（併）	
監査委員事務局	局長・大崎剛（併）、八幡重光（併）、古舘良太	
農業委員会事務局	局長・大崎剛（併）、八幡重光、古舘良太（併）、（星野理加）	
選挙管理委員会事務局	書記長・中村剛（併）、小野寺修一	

村行政組織と事務分担表が変わりました		
◎村長部局 村長・小田祐士 副村長・高橋幸司		
課 室 （内線番号）	係員※太字は定期異動者。（ ）は嘱託・臨時職員。（県）は県職員。（兼）は兼務、（新）は新採用、（併）は併任、（再）は再任用。	主な事務・事業
総務課 課長・中村剛 （110）	庶務財政班（111、112、113、114） 総括主査・神田康弘、主査・小野寺修一（併）、主事・田中敬一（県）、同・大橋美奈子、同・坂本良太	職員の管理、村の財産管理、予算・財政、消防防災、情報公開、文書受け付け、電話交換、庁舎管理
	企画調整班（115、116、117） 総括主査・上山晃、主査・小谷地英正（再）、主事・上村勝己（九戸村）、同・森裕子、同・中川大志、同・久慈美津紀、（広崎理沙）	総合計画、復興計画、友好交流事業、交通政策、村営バスの運行管理、広報、統計調査、21世紀むらづくり委員会、要望事務、住民懇談会、NPO、行政連絡員
	主査・高田光晴	久慈広域連合派遣
住民福祉課 課長・辻鼻一男 （130）	住民生活班（141、142、143） 総括主査・松頭容子、主事・小野寺忍、同・林崎剛志、（小野寺剛）、（三ヶ森真優）	戸籍、住民登録、人権擁護、交通安全、国保事業、後期高齢者医療、乳幼児・妊産婦・障害者（児）・ひとり親・寡婦医療、国民年金、消費者生活
	保健福祉班（131、132、135、136） 総括主査・小谷地鉄也、主査・古山秋男、同・岩城啓二（再）、同・齊藤崇（軽米町）、主事・島川英知、保健師・大上有子、同・中村佳津美、同・菊地真理、（栄養士・下畑優子）、（社会福祉士・貳又みち）、（看護師・下坪登喜子）、（佐々木美沙）	ごみ対策、ごみの減量化、犬の登録、予防接種・健診、生活保護、児童手当、介護保険、保育所・児童館、老人福祉、障害者福祉、母子福祉
産業振興課 課長・中村一浩 （120）	農林班（121、122、126） 総括主査・小野寺勝幸、主事・小林潤、同・北田圭太、同・柎谷隆太、同・広内誉（新）、（上平彩香）	農業振興・経営改善、農村整備、農村生活改善、林業、畜産
	水産商工観光班（125）総括主査・貳又正貴、主査・廣内鉄也、主事・福田洸希（県）、同・間明涉（新）、復興応援隊・町田恵太郎（県）、（下向理奈）	水産、商工業、観光、労働福祉、企業誘致、グリーンツーリズム、教育旅行、定住対策・田舎暮らし体験
	主事・中野誠	岩手県北広域振興局派遣
税務課 課長・泉澤弘 （150）	税務班（151、152、153） 総括主査・中居正美、主査・前川浩一、主事・角田智彦（二戸市）、同・川崎雄海、（林崎綾）	納税証明、住民税・固定資産税・軽自動車税・国保税の賦課徴収、納税組合、家屋評価・地籍図
地域整備課 課長・熊谷清志 （210）	土木班（211、212、222、223）総括主査・藤森秀規、主査・東健二（東京都）、主事・中野雅章、和野一男（葛巻町）、（原田文雄）、（大沢直人）	漁港建設、村道・農道・林道の管理、河川改修、都市計画、建築確認、村営住宅
	水道班（225） 主幹兼総括主査・下向邦武、主事・久慈卓、（前田くるみ）	水道施設の維持管理、水道使用料
	下水道班（221）総括主査・前川満、主事・南川正樹	公共下水道、集落排水事業・施設の維持管理、使用料、合併処理浄化槽

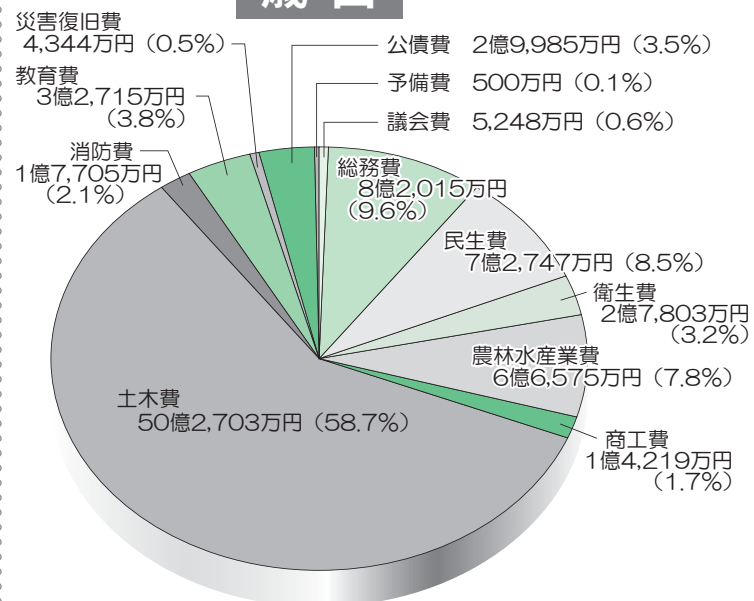
平成26年度予算

平成26年度の予算が村議会 3月定例会で決まりました。一般会計予算の予算額は85億6,618万円で、過去最高額であった昨年度に比べ、6億1,218万円、7.7%の増額となりました。

歳入



歳出



平成26年度の予算は、東日本大震災津波復興基金、東日本大震災津波復興交付金基金からの繰り入れが財源の50%以上を占め、災害公営住宅の整備や土地区画整理事業など、東日本大震災津波からの復興を図るためのさまざまな事業に充てられます。

歳出を目的別に見ると昨年度同様、土木費が28億6,495万の大幅な増額となっているほか、消費税の引き上げに伴い負担が増加する子育て世帯や低所得者への給付金支給事業の実施による民生費の増額が主な特徴となっています。

野田家の家計簿

この数字は野田村の一般会計予算を平成26年3月末の人口（4,515人）で割り、一人あたりの歳入・歳出として計算したものです。（年間の収支となります）

ここでは、村の予算を家庭での収支に置き換え、「野田家の家計簿」として紹介してみたいと思います。村の予算も家庭での家計のやりくりと同じように、収入と支出のバランスをとりながら工夫して使われています。

収入（歳入）		支出（歳出）	
給料（村税）	6万4,296円	食費（人件費）	12万1,886円
手当（地方交付税・交付金など）	56万2,237円	仕送り（繰出金）	9万1,594円
国・県からの補助金	18万8,397円	医療費（扶助費）	9万9,072円
前年度からの残金	1,107円	ローンの返済（公債費）	6万6,413円
借金（村債）	7万162円	家の増改築（普通建設事業費など）	113万3,156円
貯金の引き出し	98万7,293円	光熱水費、物品の購入、雑費（物件費、補助費）	36万9,422円
その他	2万3,776円	車、家具等の修理代（維持補修費）	4,199円
合計	189万7,271円	その他（貯金の積立、貸付金、予備費）	1万1,526円
		合計	189万7,271円

新しい村役場職員を紹介します。
皆さま、どうぞよろしくお願いします！



左から間明渉、丹治諭由、広内誉

■間明 渉（産業振興課）担当：商工、物産
早く仕事に慣れて頑張ります。これからよろしくお願いします。

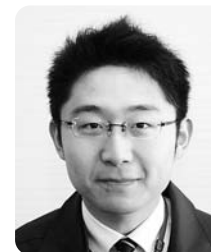
■丹治諭由（教育委員会）担当：スポーツ
楽しみながら皆さまの力になれるように頑張っていきますので、これからよろしくお願いします。

■広内 誉（産業振興課）担当：水田・産直
若さを武器にして頑張ります。よろしくお願いします。

～人事交流～ 4月から役場職員が振興局へ、
県職員が役場へ異動し、働いています。今回は、
振興局から野田村へ来た職員を紹介します。

福田 洸希（配属課：産業振興課）

早く馴染めるように頑張ります！
出身は軽米です。軽米の「さるなし」
もよろしくお願いします！



派遣職員紹介

他市町村から野田村に応援に来てくれている派遣職員の皆さんを紹介します。

この春から野田村で復興に向け、
共に働く職員の皆さんです！

■総務課■



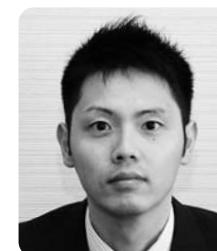
かみむら かつみ
上村 勝己
(九戸村)

■住民福祉課■



さいとう たかし
齊藤 崇
(軽米町)

■税務課■



かくた ともひこ
角田 智彦
(二戸市)

■復興むらづくり推進課■



なかむら せいじ
中村 征治
(洋野町)



わたなべ やすゆき
渡部 恭之
(青森県)

■特定課題対策課■



こんどう かつよし
近藤 勝義
(葛巻町)



きくち ゆう
菊池 雄
(盛岡市)

ご協力、
ありがとうございました！

派遣職員として野田村
の復興を手伝ってくれた
3名の方の派遣期間が3
月31日をもって終了し
ました。



左から目澤大介（盛岡市）、小坂修策（二戸市）、米澤茂彦（二戸市）

震 久慈工高生徒が屋台やベンチ寄贈 災復興に役立てて

3月24日、役場前で久慈工高の生徒が作成した屋台やベンチなど、78台の贈呈式が行われました。同作品には地元産のスギ材が使われ、同校のソフトテニス部員17人が製作。費用は県の「県民参加の森林づくり促進事業」を活用しています。贈呈式では生徒代表の新山陸さんが「震災復興のため、大いに使ってほしい」とあいさつし、小田村長に寄贈しました。



座り心地を確かめる村長と生徒たち

住 村として初の災害公営住宅建設着手 まいの復興進む

3月28日、南浜の高台団地で災害公営住宅整備の無事と早期の完了を願って地鎮祭が行われました。工事が着手されるのは南浜地区、下安家地区7戸の災害公営住宅で、村が建設する災害公営住宅としては初めての着手となります。



村や住民の代表が集まり
工事の無事を祈りました

で 川戸道ヒデさん白寿祝 長寿おめでとうございます

3月17日、特別養護老人ホームに入所している川戸道ヒデさんが99歳の誕生日を迎えられ、白寿祝の記念品などを小田村長から手渡されました。川戸道さんは大正4年の生まれで、子ども4人、孫10人、ひ孫16人の子宝に恵まれています。



99歳の誕生日を迎えられた川戸道ヒデさんとその家族ら

産 野田村のお母さん、商品開発に意欲！ 直出荷者をリード

久慈地域の産直出荷者の商品開発意欲向上につなげようと開催された「おむすび&お漬物グランプリ in 北三陸」で、小野寺信子さんの「福来にぎり」、米田よしさんの「めかぶ漬」がそれぞれの部でグランプリ、北田白礼干さんの「ホタテごはんおにぎり」が準グランプリに輝きました。



受賞者左から米田よしさん、小野寺信子さん、北田白礼干さん

中小企業事業所などの再建費用を補助します！

村では、被災した中小企業者が、事業再開のため、被災前の資産の復旧に要する経費に対して補助を行います。

■補助金の交付対象者

東日本大震災津波で事業所などが全壊・流失し、村内で再建する中小企業者。

※県が実施する他の震災関係補助金の交付決定を受けた中小企業者は対象になりません。

■補助対象経費

- ・建物やその他付属設備の再建費用
 - ・事業用機械などの購入費用（自走式機械は除く）
- ※原則として固定資産課税台帳に登録されていた資産が復旧経費の対象となります

■補助の条件（抜粋）

- ・年度内に工事が完了し、補助対象経費が100万円以上（消費税抜き）であること

※中小機構仮設店舗を利用している場合、別途条件があります。

■補助金額

- ・補助対象経費の2分の1以内
- ・補助の上限は2,000万円

■申請方法、必要書類

- ・申請書（産業振興課窓口）
- ・被災状況が確認できるもの（罹災証明書など）
- ・復旧する設備などを被災時に所有していたことを証明する書類（固定資産評価証明書など）など

■申請期限（平成26年度分） 12月10日（水）まで

■問い合わせ 産業振興課 ☎78・2926

東日本大震災犠牲者追悼式

～犠牲者への哀悼と復興への祈り～



震災から3年となる3月11日に村体育館で野田村東日本大震災犠牲者追悼式が開催され、約500人が参列して、犠牲者への哀悼と復興への祈りを捧げました。

会場では国主催の追悼式の様子が放送され、大震災が発生した14時46分にサイレンとともに会場の全員で黙とうを捧げました。

安倍晋三内閣総理大臣の式辞、天皇陛下のお言葉に続き、小田村長が「復興を実感できる事業がある一方、いまだに思うように進まない部分もあり、道のりは長く険しい。必ず活力ある住みよい村に復興させていくことを誓います」と式辞を読みました。

遺族や村民などの来場者は一人一人、献花台に花を手向け、犠牲者の冥福を祈りました。

地域の足として…

みんなから愛される“三鉄”が全線運行再開！

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。この震災により、三陸鉄道は全線不通となりました。しかし、職員の皆さんの「地域の足になる」という強い思いと、国内外からの温かい支援のおかげで平成26年4月6日に全線運行再開を迎えることができました。

本村でも、陸中野田駅、野田玉川駅に総勢487人の住民が集まり、再開を祝う記念列車を迎えました。

イベントでは、駅長・副駅長号として俳優の杉本哲太さん、荒川良々さんを乗せた特別列車も運行し、県内外から48名のツアー客の皆さんが乗車しました。ツアーに参加された人は、「テレビのニュースで三鉄の話題を見ていたが、実際に乗ってみて、みんなの鉄道なんだということを実感した。今回の再開イベントでは、子どもからお年寄りまで一緒に盛り上げようという気持ちを感じられてとても感動した。もっと友人などを誘って来たい。」と話し、「地域に愛される三鉄」の姿が村外の人から、とても魅力的に感じられたようです。

…皆さんも、三陸鉄道に乗って地域の魅力を再発見する旅に出てみてはいかがでしょうか？



世代別で熱いプレーが炸裂!!

8地区対抗 第6回ソフトバレーボール大会

平成25年度の村民体育大会最終種目、第6回ソフトバレーボール大会が2月20日～3月6日にわたり、村体育館で行われました。大会は、ブロンズ（34歳以下）、シルバー（35歳～49歳以下）、ゴールド（50歳以上）の3世代に分かれて試合を行い、白熱した試合が繰り広げられました。それぞれのチームで応援しあったり、必死にボールに食らいついたりする姿なども見られ、楽しんでプレーをしていました。

結果は、次のとおりです。

■ブロンズの部 優勝	新山	準優勝	城内中	3位	玉川
■シルバーの部 優勝	城内中	準優勝	城内上	3位	新山
■ゴールドの部 優勝	城内上	準優勝	新山	3位	泉沢中平



優勝したチーム
前列：ブロンズの部 優勝 新山
中列：シルバーの部 優勝 城内中
後列：ゴールドの部 優勝 城内上

野田中バレー部、大健闘!!

第18回野田村長杯中学校バレーボール大会

3月1日（土）村体育館で、第18回村長杯中学校バレーボール大会が久慈管内の中学校10校が出場の中、開催されました。

同大会では野田中学校は過去に優勝3回、準優勝3回するなど上位入賞を果たしていましたが、平成20年には部員数の減少により休部となり、野田中学校不参加の中で大会を開催してきました。しかし、生徒や父母の熱意、中学校の理解のもと4年越しの一昨年に1年生がバレー部を結成し、結成2年目にして強豪に打ち勝ち見事準優勝を飾りました。試合は各チーム一丸となって日頃の練習の成果を発揮し、観客席からは応援が飛び交い、大いに盛り上がった大会となりました。

なお、本大会は八幡平市で5月に行われる県春季大会の予選会も兼ねており、県大会の出場権を獲得しました。



県大会も頑張ってるね♪

◆5月のおはなし会◆

図書館ボランティア「あつぷつぷ」による読み聞かせの会です。どなたでもお気軽にお越しください。

- 日時 5月17日（土）
14:00～
■場所 村図書館内 児童室

○アジア民族造形館オープン!!!○

4月1日からアジア民族造形館が冬期休館を終えてオープンしています。ぜひ、ご来館下さい！

- 【開館時間】 9:00～17:00
【休館日】 月曜日（祝祭日は、その翌日です）
【入館料】 大人 300円
学生（高・大学生）200円
小人（小・中学生）100円

プラスチック製容器包装分別についてのお願い

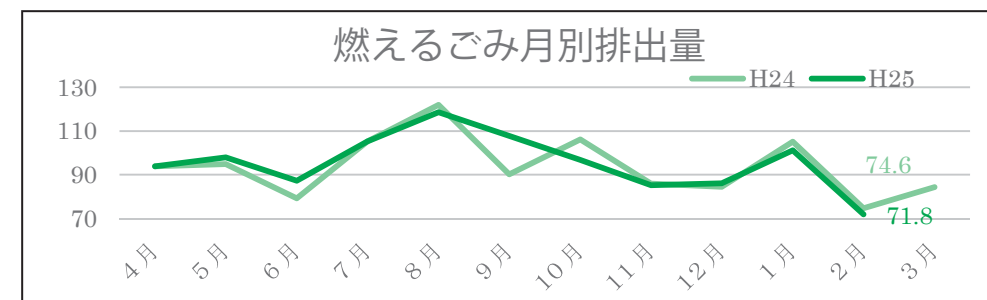
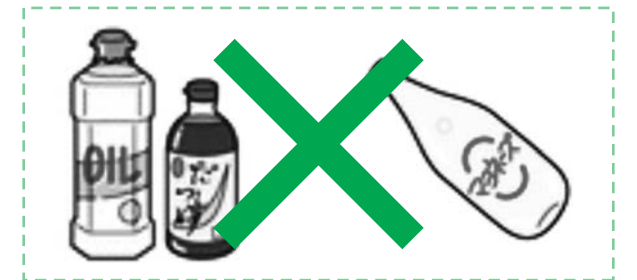
※マークが二つあるものに注意してください

【例】



※ボトル・チューブ類は回収しません

汚れが落ちにくいので、収集しないこととします。「燃えるごみ」に出してください。



◀野田村の燃えるごみ月別排出量についてお知らせします。

■問い合わせ
住民福祉課 ☎78・2927

電気自動車を購入しました



村では、限られた資源を有効活用し、環境を守るためにクリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金を活用し、電気自動車を購入しました。電気自動車はガソリンの代わりにバッテリーに充電された電気を使って走行するため、走行中の排気ガスがなく、騒音や振動も少ない車です。さらに、電気代はガソリン代の3分の1から9分の1になりとても経済的です。

また、停電時には、電力の供給源となることが期待されます。

アポイの島唄呼ぶまち
友好町村だより

北海道 様似町 158

様似町の「地域おこし協力隊」に男女2人の隊員が誕生

様似町の「地域おこし協力隊」に採用された加藤裕司さんと井坂美保子さんへ、4月1日に坂下一幸町長から委嘱状が交付されました。地域おこし協力隊とは、農林業の応援や地域協力活動に従事するとともに、その地域への定住・定着を目指してもらうものです。東京都出身の加藤さんは、農家の作業支援をしており、今後イチゴ栽培の専門研修を受け、新規就



地域おこし協力隊に委嘱された加藤さん（右）と井坂さん（左）

農を目指しています。福岡県出身の井坂さんは、アポイ岳ビクターセンターに勤務し、アポイ岳の保護・保全活動や町内全域におけるエゾシカの食害対策に取り組んでいます。

★お誕生おめでとう

松川美都(泰洋・久美子)上明内
♡いつまでもお幸せに

(水上直人 中平
(伊藤志穂 洋野町
(外館敬寿 港
(下斗米朋美 久慈市

■ご冥福を祈ります

林崎ヤス(91) 日形井
前田好造(89) 前田小路
大澤ナカ(88) 北区
下田ユミ(81) 上泉沢
日當タマ(90) 間明
小野寺達郎(87) 下明内
外館政藏(88) 米田

人の動き

男 2,176人 (-14)
女 2,339人 (-7)

計 4,515人 (-21)

世帯数 1,642世帯 (-5)

(人口、世帯数は外国人を含む)

○村内の交通事故 人身事故 0件

物損事故 5件

○救急車出動件数 17件

(うち村外 4件)

○飲酒運転検挙者数 0人

(平成25年8月1日からの累計0人)

駐在所だより

★梅雨期には万全の備えを

梅雨の時期は全国的に、低気圧や前線による集中豪雨や、局地的な大雨により毎年のように川の氾濫や土砂崩れなどが発生しています。

いざというときの心構えや準備を怠らず、万全の備えをしておくとともに、万が一避難する場合は、早めにみんなで声を掛け合い、助け合って避難するようにしましょう。

■問い合わせ 野田駐在所 ☎78・2161

ほっとひといき
4月から広報の担当となりました森と申します。皆さまとの出会いを大切に、広報を通して笑顔の輪を広げたいと思います。どうぞよろしくお願い致します！



野田小学校の入学式の様子。これから始まる学校生活への期待と不安が表情に表れます。



野田中学校の入学式では、新入生を代表して中野冨規くんが誓いのことばを述べました。



4月8日に久慈工業高校の入学式が挙行され、43名の新入生が希望を胸に目を輝かせていました。



村交通安全対策協議会など村内の団体から野田小学校に交通安全7つ道具が贈呈されました。



久慈工業高校の学生が製作した木製イベント屋台。今後の活用が楽しみです。

復興事業に係る現地見学会の開催について

村では、復興事業に対する理解を深めるとともに進捗状況を住民の方々にお知らせするため、現地見学会を開催します。参加を希望される方は、復興むらづくり推進課までお申し込みください。

■日時 平成26年5月18日(日)
午前10時～12時頃(雨天中止)
※集合時間 午前9時45分までにお越しください。

■集合場所 村民広場(現地への移動はバスで行います)

■見学場所 城内高台団地、土地区画整理、都市公園など工事現場

■募集定員 50人(先着順)

■申し込み先 復興むらづくり推進課 ☎78・2915

■申込期限 平成26年5月9日(金)

村営住宅の入居者募集

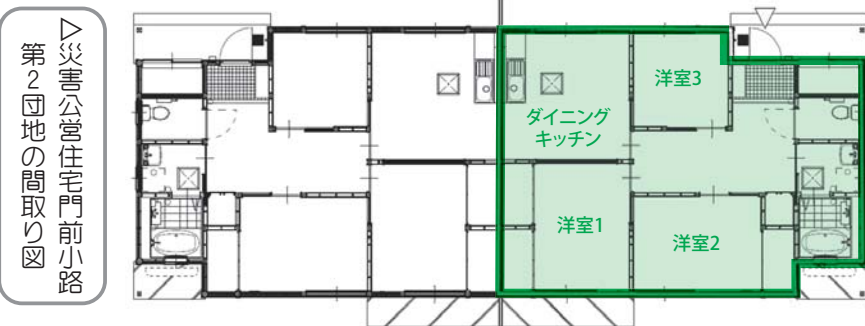
村では以下の内容で、村営住宅の入居者を募集しています。入居には条件がありますので、ご相談ください。

■災害公営住宅門前小路第2団地 …… 2戸(被災者のみ)

■上明内住宅 …… 1戸

■新山住宅 …… 1戸

■問い合わせ 地域整備課 ☎78・2932



後期高齢者医療制度 保険料変更のお知らせ

平成26年度分から後期高齢者医療制度の保険料が下記のとおり変更されます。

これは、被保険者数の増、医療費の増加などに伴うものです。平成26年度の保険料は前年の所得に基づき決定されますので、個人の具体的な保険料については今年7月にお知らせします。

① 保険料率の改定
平成25年度まで 平成26・27年度
均等割額 35,800円 → 38,000円
所得割 6.62% → 7.36%

② 軽減の対象者が拡大
これまで世帯主一人のみが被保険者であった場合、均等割額の5割軽減は適用されませんでした。また、2割軽減の対象世帯も拡大されます。

③ 賦課限度額が引き上げ
一年分の保険料の上限が、55万円から57万円に変更されます。

■問い合わせ
岩手県後期高齢者医療広域連合
☎019・606・7500
役場住民福祉課 ☎78・2928

皆さまのご支援ありがとうございます

3月中に皆さまからいただいた支援の状況をお知らせします。

■災害義援金 16万3,502円
(累計 1億548万9,081円)

年金です 後納制度のお知らせ

後納制度とは、時効によって納められなくなった国民年金保険料を過去10年分まで納めることができる制度です。後納制度を利用することで、年金額が増えたり、納付期間が足りず年金を受給できなかった方が年金受給資格を得られる場合があります。

後納制度は、平成24年10月から開始されており、平成27年9月末までの期限付きとなっていますので、ご注意ください。

詳しくは年金事務所・役場までお尋ねください。

■問い合わせ
二戸年金事務所 ☎0195・23・4111(代表)
役場住民福祉課 ☎78・2928(直通)

消費税8%がスタート

今回の消費税引き上げ分は全て医療・年金などにあてられます。医療・年金・介護・子育てを守るため、消費税の負担をお願いします。

(中小企業庁)

この道60余年

(有) 櫻庭石材店

戒名入れ、墓所工事一式、記念碑、基礎工事など

※従業員募集※
18才～55才(要、普通自動車免許)
定員1～2名(詳しくは、直接にて)

野田村新山33-11-5 TEL/FAX 0194-78-3164(自宅兼事務所)
TEL 0194-78-2402(会社工場)

復興元気に
営業中!

芽吹きの季節がやってきました

Beauty Salon
セキモト
九戸郡野田村大字野田28-12-7
TEL 0194-78-2475

これからは活動の季節
体調を崩しやすい時期でもあります
負けないで!!
明日も笑って
いられるように

皆様のお越し、
セツチャンと
大矢チャンで
お待ちしております

果肉たっぷり! ヴァンイェー

～20種類が勢ぞろい～
ぜひお立ち寄りください

Patio Murata
パティオムラタ

玉川 5-75-3 TEL 78-2845 FAX 78-2898

『復興!七福スタンプ第4回抽選会 当選者発表』

この度、沢山の満点台紙のご利用ありがとうございました。

厳正なる抽選の結果、1,192枚の応募の中から右記の皆様に3千円分の商品券が当選致しました。おめでとうございます!

お買物は野田村スタンプ会加盟店をご利用下さい。事務局 ☎78-2012

岩山 渡(門前小路)、大泉セツ(門前小路)
小野寺マサ(門前小路)、土橋チサ子(中平)
工藤ヤエ子(中平)、坂本久美子(日形井)
野竹善作(米田)、野崎亜紀子(泉沢)
前田スミ子(前田小路)、
山崎征一(横町) (敬省略 順不同)

復興

ふるさと岩手に貢献したい

中野 美樹さん
24歳・下明内



中野さんは、今年の4月から講師として野田小学校に勤めています。

―教師を目指すきっかけは

教師だった祖母の影響と、小学校の時に担任だった高瀬節子先生の姿を見て、教師という仕事の素晴らしさを感じたからです。

―どのような先生になりたいですか

児童の成長の後押しができる先生になりたいです。

―趣味は

音楽が好きなのでよく聴いています。得意なうたは西野カナの「if」です。あとは本を読むのが好きですね。（…コミックとかなんですけどね。笑）

―やってみたいことは

長距離の運転をしたことがないので、盛岡まで自力で行ってみたいです。

―好きな男性のタイプは

優しく人当たりがいい人！（あ、真面目っていうのも追加してください。笑）コミックのキャラクターでは名探偵コナンの服部平次が好きです♡

―皆さんに一言

野田村の皆さん、これから1年間お世話になります。よろしくお願いします！

広報クイズ

のだ塩ポテト
が3人に当たる！



今月の『広報のだ』を読んで、クイズにお答えください。

Q. 4月6日に全線運行再開した鉄道は何鉄道？

①沿岸鉄道 ②三陸鉄道 ③あまちゃん鉄道

■応募方法 はがきに答えと住所、氏名、イラストなどを書いて、次の住所に送ってください。

〒028-8201 岩手県九戸郡野田村大字野田20-14

総務課 広報クイズ担当

■応募期限 5月2日（金）

■先月号の答え ①杉

■先月号の当選者 坂本裡音ちゃん、長根大悟くん、佐々木秀弥くん、中村心奏ちゃん、Daisuke Daisukiさん

みんなの声
イラスト
コーナー



中村仁胤くん（中平・4歳）



吉田さくらちゃん（横町・7歳）



坂本愛莉ちゃん（門前小路・9歳）



中村心奏ちゃん（中平・9歳）



長根大悟くん（下新山・7歳）



佐々木秀弥くん（中沢・11歳）



坂本裡音ちゃん（門前小路・7歳）



Daisuke Daisukiさん（中沢・8歳）



佐々木菜奈ちゃん（下新山・5歳）



長根大悟くん（下新山・7歳）



下座怜汰くん（門前小路・7歳）



富山瞳莉ちゃん（上明内・9歳）



坂本心海ちゃん（北区・10歳）